

■災害時対応実地訓練を実施しました！

10月24日(日)、浜田市の(株)ハゼヤマ(大賀誠一社長)三隅西給油所において「災害時対応実地訓練」を実施しました。

訓練にはハゼヤマから多くのスタッフが参加され、うち3人が実地訓練を行いました。訓練実地にあたっては、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、できるだけ少人数の参加とするなど、感染症対策に配慮した訓練とし、浜田地区10名の視察者がありました。

冒頭、大賀誠一理事長から、「最近では自然災害が多発しており、災害時のエネルギー供給の”最後の砦”としての役割を果たすためにも日頃からの訓練が必要です。本日の訓練で学んだことを各SSに持ち帰り、誰でも災害対応できるようにしてほしい」とあいさつがありました。

訓練では、まず講師の円城寺昭氏(SOMPOリスクマネジメント(株))が緊急用発電機の稼働、車両への給油、通常電源の復旧などの手順について説明し、その後、実地訓練に移りました。

災害発生による停電を想定し、実際に緊急用発電機を稼働させ、電源の切り替え、緊急車両への給油、手書き伝票へのサインの受けとり、電源の復旧までの一連の流れを確認しました。

訓練終了後の座学は、新型コロナウイルス対策を考慮し、会場では行わず、その代替えとして、「災害対応実地訓練」テキスト、解説DVDを配布し、アンケートにご協力お願いしました。

9月から打合せ、準備を進めてこられた(株)ハゼヤマの皆様、大変お世話になりました。

また、視察に参加されました皆様、お疲れさまでした。



訓練参加の(株)ハゼヤマ三隅西給油所の皆さん
 (右から)小松敏美所長、寺戸 功さん、田中和利さん



分電盤の切り替えを行う小松敏美所長



マンホールを開け検水を行う田中和利さん



訓練の様子を見る視察者の皆さん



消防両車に給油する寺戸 功さん